

# 武蔵野市第五期基本構想・長期計画策定 関係市民団体会議（子ども・教育分野） 議事要録

---

■日 時 平成 23 年 2 月 19 日（土）午前 10 時 54 分～午後 0 時 26 分

■場 所 市役所 811 会議室

■出 席 山本泰委員長、見城武秀副委員長、  
小竹佐知子委員、作部径子委員、前川智之委員、松本すみ子委員、  
会田恒司委員、井上良一委員、  
事務局（企画政策室長、企画調整課長、政策調整担当課長他）  
関係市民団体（63 団体 75 名）

■傍聴者 10 名

---

## 議 事

・委員長より会議の趣旨説明、委員紹介の後、関係市民団体との意見交換が行われた。

【銀蹊 13 期会】生涯学習で学んだことを、どうしたら地域社会で生かせるか。ボランティア活動に市民の意欲を結びつける市の仕組みが足りない。その仕組みの研究を大学でやってほしい。

【第一小学校 P T A】①17 年前に吹奏楽団ができたが、楽器の老朽化が進んでいる。吹奏楽団会費では楽器代に手が届かず、P T A 会費は充当できない。学校に楽器の予算をつけてほしい。

②学校内の水道からさびが出ているので、水道管を取りかえてほしい。

③習い事や塾からの帰宅時に通学路である大正通りを使えるように、大正通りの電灯を L E D にしてほしい。

【市民】西部図書館は、日曜日には 1 日 150～200 人が利用している。私たちが 123 名に行った出口調査では、西部図書館を利用する理由は 101 名が「家から近いから」と答えている。ぜひ委員に実態を見てほしい。都営住宅が近くにあり、高齢者、母親と子どもの利用が多い。「本のある

豊かなライフスタイル」を推進するためにも、西部図書館を残してほしい。

【泉幼稚園跡地利用を考える会実行委員会】私たちは、泉幼稚園跡地の購入を市にお願いしながら、跡地をどうするかを真剣に考えてきた。議会に請願を出し、行政とも話し合ってきた。「子どもプラン」には「青少年」という文言が載っていたが、討議要綱ではそれが消えてしまって、子育て支援施設と公園で利用すると出ている。我々の意見は委員に行っているはずだが、今まで積み上げてきたことをゼロにして、改めて市民と話し合うということか。

【委員長】泉幼稚園跡地についてはさまざまな経緯があったが、この基本構想・長期計画で、ある程度の方向を出したい。青少年のことももちろん頭に入っている。それをこの敷地の中で考えるか、もう少し面的に考えるか、皆さんのご意見やこれまでの経緯を尊重しながら詰めていきたい。

【武蔵野市民合唱団】吉祥寺美術館音楽室の移転または廃止は、現状を無視した結論だ。音楽室の活動実態は99.9%である。武蔵野市民合唱団は、毎年、成人式などで市民の歌などを歌唱し、市の文化芸術の発展に尽力したと市から表彰されている。音楽室の廃止は、このような活動をしている団体の消滅につながりかねない。代替策の併記もしくは検討が添えられるべきだ。

【委員長】代替策は考えている。

【武蔵野市郷土史会】郷土史会は33年にわたって活動してきた。武蔵野市には常設の郷土史館がない。23区あるいは多摩地区で、郷土史館のない地区は珍しい。市内にまだ空地もあるので、ぜひそこを活用して、文化財をみんなに見える形にしてほしい。

【天山会】高齢者センターのバイオリン初心者講座修了者の同好会である。5～6年前から福祉施設で演奏して喜んでいただいているが、要請が余りないので、こういう活動をしているボランティア団体があると、市から福祉施設に指導してほしい。

【委員長】市民社協のボランティアセンターで、そういう世話ができると思う。

【ハナミズキ料理勉強会】①行政として、まず少子高齢化対策を具体的に議論してほしい。それがあって、初めて持続可能な武蔵野市につながると思う。

②子どもたちの放課後の居場所として、まず既存施設である小中学校に夜間照明をつけて、活用してほしい。

【委員長】 少子高齢化対策は議会でも指摘され、少し議論したところである。

【銀蹊 18 期会】 公立小中学校の 30 人学級を明文化してほしい。文科省では、財源がある自治体はど  
うぞということなので、市は具体的な数値目標を出してほしい。

【武蔵野市学童クラブ連絡協議会】 今日の議事録はとられているか。

【委員長】 とっている。

【武蔵野市学童クラブ連絡協議会】 後で公開されるのか。

【委員長】 基本的に公開する。

【武蔵野市学童クラブ連絡協議会】 放課後施策の充実について、「第三次子どもプラン武蔵野」は非常  
によくできていた。今回の五長のほうが上位計画ということは理解しているが、それを踏襲し  
て実施していただきたい。

【委員長】 武蔵野市は個別計画がかなり充実しているので、十分尊重しながら基本構想・長期計画を策  
定していきたい。

【地域子ども館境南あそべえ企画運営会議】 あそべえで、こういうことをやってみたいと思っても、お  
願いできる人材が上がってこない。地域にはいろんな特技や情報を持った方がたくさんおられ  
ると思うので、コミュニティを活性化し、ネットワークづくりを充実していただきたい。  
あそべえは学校図書室の開放も担っているが、本来、図書室には司書がいることがベストだ。  
武蔵野市は、ブックスタートとか、3～4 歳児への本の紹介という面では進んでいるが、小中  
学生についてはおこなっているもので、整備を進めてほしい。

【委員長】 人材不足、ネットワーク不足は、福祉や教育、まちづくりに共通の問題なので、何か知恵を  
絞りたい。

【青少年問題協議会 千川地区委員会】 ①小学校の放課後施策について、一体化の議論は、あそべえの  
実態を把握してからにしてほしい。千川地区では、あそべえの教室は地下にあり、学童クラブ  
は千川小学校内にあって、外側を回ってこないと入れない。これをどのように一体化するのか  
疑問を持つ。

②地域や市民団体に、情報をしっかり伝えるという項目をどこかに入れてほしい。行政の縦割  
りのためか、情報が伝わらなかったり、伝わるのが遅い場合がある。

③校庭にナイター設備ができると、地域の人が子どもたちにいろんなことを教えられる。時間的な場所の活用として大きなメリットがある。

④スポーツを教える先生が足りないということだが、地域には社会人スポーツ団体がたくさんある。そこに社会貢献してもらうように行政側からアプローチしてほしい。

【委員長】 検討させていただく。

【東京YWCA武蔵野】 三鷹駅北口の近くで 55 年、子育て支援、子ども会活動、外国にルーツのある子どもたちへの日本語と学習支援、創作活動、異文化理解学習という幅広い活動を続けている。

①武蔵野市では、外国にルーツを持つ子どもたちが増加しているはずだ。その実態の把握と、その子どもたちへの支援という項目をぜひ入れていただきたい。

②YWCAの学習支援、日本語支援には、地域のボランティアの方たちがたくさん登録されている。専門性のある方も多いので、そういった民間団体の活力を生かしてほしい。また、学校の壁が厚く、学校の中の子どもたちのニーズの把握に疑問もあるので、学校の先生方とも連携していきたい。

③7) で、体験学習や音楽教育と限定している理由は何か。

【副委員長】 体験学習や音楽教育は武蔵野市が実績のある分野なので、それを継承し、発展させていきたいということで、新しい試みを排除するものではない。

【委員長】 武蔵野市も日本国籍の日本人だけのまちではなくなっていくので、国際都市のあり方、多様な市民への支援のあり方、地域社会の活動に参加する仕組みは大きいテーマだ。

【武蔵野市社会教育を考える会】 武蔵野プレイスでどのような生涯学習施策が行われるのか、今までの資料を見た限りではよくわからない。まちの課題とか、どのように学習していくかとか、プレイスや市民会館との関係も含めて、生涯学習施策をしっかりと構築してほしい。かつて三館構想があったが、中心に本館的なものを持ちながら、身近なところで学べるランチも大切だと思う。

【委員長】 武蔵野市は生涯学習の体系が弱いと指摘されている。生涯学習は、コミュニティの人材育成と、個人の学ぶ権利の保障という 2 つの考え方があるが、プレイスをきっかけに、生涯学習の今後 10 年間の位置づけ、体系、計画に踏み込んで考えていきたい。

【つばき音楽クラブ】 2000 年にワークセンター大地で始めたクラブで、その後、一般ボランティア、

音楽演奏家たちで引き継いだ。今はワークセンター大地だけでなく、ワークセンターけやき、福祉作業所や、入りたいという人は全部受け入れて、地域の子どもたちと音楽活動している。7月10日には自主イベント、10月2日には市民音楽会に参加するので、ぜひ足を運んでいただきたい。

【武蔵野邦楽合奏団】10年ぐらい前の5年計画で委員をやったとき、触れることのできない項目があった。それはコミュニティセンターの役割の基本である。市民の手による運営なので、予算の使い方とか部屋の借り方に多少首を傾げるようなものもあった。そろそろ、もう一段のスキルアップをするときではないか。

【委員】武蔵野市の市民自治の実績の継続と、パーソナルに活動するという社会構造の変化で、コミュニティセンターの運営のあり方、コミュニティのあり方が問われていることは認識している。

【市民】①プレイスができると、吉祥寺の自由大学交流センターがなくなる。ここは集まりやすく、印刷なども安くでき、市民活動を育てるふ卵器だった。ぜひそれにかわるものを用意してほしい。

②プレイスを中心に、ボランティア活動の育成に力を注いでほしい。ボランティアは、その気になったときに必要な準備ができるというロジスティックが必要だ。

【武蔵野ウイングスサッカークラブ】子どもたちがサッカーできる場所を、これからもずっと確保していただきたい。今、武蔵野中央公園が改修工事で、成蹊大学のグラウンドで大会を行った。パブリックな施設を確保していただきたい。第三小学校の緑化は2メートル幅で芝生を張っているが、非常に使いにくい。実態を把握して行ってほしい。

【境南小学校PTA・地域子ども館境南あそべえ企画運営会議】①中学校の学校給食の試食会をしてほしい。

②自転車専用道ができたが、歩道と重なるところがある。また、自転車のスピードが上がったので、実際に通学路をもう少し見てほしい。

【副委員長】中学校給食は始まったばかりなので、試食会の仕組みがまだできていないのだろう。担当部署に確認する。私は2度ほど試食したが、素材から手をかけるやり方は小学校給食と同じで、ボリュームもある。

【武蔵野市保育問題協議会】公立保育園で残る4園も、なくすことを考えているのか。

【委員長】この段階で廃止することは考えていない。

【武蔵野市保育園父母会連合会】①「子どもプラン」の重点的取り組みと今回の討議要綱がどうマッチしているのかがよくわからない。そもそも論として、将来を考える市民会議で出たことをどう反映していくのか。また、「第四次子どもプラン」はどうするのか。公立保育園について、平成22年5月の新武蔵野方式の基本方針で示された公立保育園を残す意義はご承知か。

②少子化と高齢化は別の問題なので、分けて考えてほしい。

【委員長】個別計画と長期計画の関係は、個別プラン策定後の経緯を検証しながら、もう少し大きいレベルでバージョンアップしながらリライトしているので、1対1の対応はとりにくい。新武蔵野方式は承知している。意義を踏まえて検証する。

【武蔵野市卓球連盟】①武蔵野市には地域のスポーツクラブがない。旧桜堤小学校に少し手を加えれば、総合スポーツセンターとして非常に適している。

②児童館、西部図書館の利用者は多い。実態を知って、廃止はやめてほしい。

【委員】西部図書館の実態はよく知っているが、やはり財政の問題がある。お金と市民の使いやすさの最大公約数で、いい方向性が出せればと思っている。

【武蔵野市社会教育を考える会】0123はよく機能しているが、3歳からは共存が難しい。その受け皿が児童館だ。児童館をなぜやめるのか。その機能を、どこで、どう担っていくのか。武蔵野市は子育て支援を一生懸命考えているが、「子育て支援」であるべきだ。子どもを18歳まで大きく見渡す計画と、個別施設への展開を担う児童館が0123化されることには、非常に抵抗感がある。

【委員長】多くの団体の活動や、既存の施設や仕組みについての皆さんの思いや問題点について、理解を深めることができた。そういうものを全体を通して解決する仕組みや目標として、総合計画の意味があると強く感じた。

————— 了 —————